

令和5年10月27日

北海道教育庁渡島教育局キャリアプランニングスーパーバイザー上田 友洋

11月1日から1人2社まで応募することが出来ます

3年生(定時制4年生)のみなさん、就職活動について、思い描いたように順調に進んでいるでしょうか。周囲の友人が就職内定を決めていくと、焦りや不安を抱いたりするでしょう。11月1日からは1人2社まで応募することができますので、まだまだ諦めず、粘り強く積極的に求人票を検索、閲覧しましょう。

希望に合った求人を見つけたときのため、今のうちに日付と志望動機以外を記入した履歴書を用意しておきましょう。

また、困ったことがあれば、悩まずに担任や進路の先生に相談してください。これからも進路実現に向けて頑張るみなさんを応援します。

履歴書を参考に面接試験について もう一度考えてみよう

面接は基本的に皆さんが書いた履歴書の内容に沿って進められます。自分で書いた履歴書を何度も読み返して、より詳しく説明できるように準備しておくことが大切です。

企業の担当者が面接から知りたいこと

○志望の動機

「何故この会社に入りたいか」

「入社したらどんな仕事をしたいか」

「自分の将来像をどのように考えているか」

このような質問が多いでしょう。事前に想定し、回答を準備しておきましょう。

○校内外の諸活動

部活動、生徒会活動、ボランティア活動、アルバイトなど、一生懸命やったことならどんなことでもアピールの材料になります。活動の中で学んだことを語るようにしましょう。

○資格

英語検定、簿記検定、情報処理検定など取得した経験から学んだことは何か語れるようにしましょう。

○長所

「あなたらしさ」を感じてもらえる項目です。「特に思い浮かばないなあ・・・」と思う方は、家族や友人に聞いてみましょう。必ず何かあります。

採用担当者のはなし

- ① 将来の幹部候補として新規高卒者を採用したい。
- ② やる気のある、意欲的な生徒に来て欲しい。
- ③ 新規高卒者と仕事をすることで、現在働いている社員にも良い影響を与える。

このことは、私が企業訪問をした際に採用担当者から多く聞かれた話です。面接を受ける際に参考となるのではないのでしょうか。面接時の対応に沿って考えてみましょう。

①について

将来の幹部ということは長く働いてくれる人を求めています。部活動や習いごとなど長く続けてきたことや、粘り強い性格などについてのエピソードなどを交え、伝えると好印象に繋がるはずですよ。

②について

ハキハキと目を見て話すことで、前向きで、やる気のある意欲的な人と受け止められるでしょう。

③について

「人と関わることが好きです」などと笑顔で話すことで、明るい職場の雰囲気づくりに役立つことがアピールできます。

企業が求めている人材を理解することは採用面接の対策を立てることにもつながります。担当者からは次のような話も聞かれましたので、参考にしてください。

- ・「こういう仕事がしたい」という思いがあること。
- ・コミュニケーション能力があること。
- ・挨拶ができ、礼儀・マナーを身に付けていること。
- ・基本的な学力、一般常識を身に付けていること。